

# せん じゆ びら 千住のえんま開き



**正** 月15・16日(初閻魔)と、盆の7月15・16日(大斎日)に、勝専寺(千住2-11)の閻魔堂が開帳される、えんま開きが行われます。この日は地獄の釜の蓋が開き、参拝すると日ごろの罪が許さるほか、喘息や扁桃腺など喉の病気にご利益があるといわれています。

山門に入って左側の閻魔堂に安置される木造閻魔王坐像は、寛政元(1789)年に開眼されました。寄木造りで、全身朱塗りが施されています。高さ1.8mに及び、嵌入された玉眼と大きく開いた口が、見る者に畏怖の念を与えます。また、境内や門前には130店近くの露店が立ち並びます。昭和40年頃までは、境内に仮設の見世物小屋が建てられ、地獄廻りや人形芝居が上演されていました。



▲閻魔詣でをする参拝者



▲昭和45年に撮影されたえんま開き。多くの出店が建ち並んでいる様子は昔も今の変わりません。